

学校関係者評価報告書

平成 25 年 3 月 14 日

新宿区立牛込第一中学校 学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会の活動実績

月日	会場	協議内容等
5 月 24 日	牛込第一中	評価委員会で学校関係者評価 評価項目案の提示
2 月 22 日	郵送	21 名の評価委員に学校関係者評価資料と評価表の送付
3 月 7 日	学校事務局	学校関係者評価表回収後の集計
3 月 12 日	牛込第一中	評価委員会で学校関係者評価集計結果の検討および報告書の作成

2 評価結果

A：十分達成 B：概ね達成 C：次年度以降に期待

評価項目	重点目標	評価	所見
確かな学力の育成	◎目標を定め意欲的に授業に取り組む生徒の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> 教師の真剣な姿と学習指導の創意工夫により生徒は意欲的に楽しく授業に取り組んでいる。 ICT 機器の活用については、生徒の各教科の興味、関心を持たせるために PC やデジタル教科書、実物投影機の有効活用するよう期待する。 生徒が授業の中で理解できないことをそのままにせず、質問する場(時間)がほしい。生徒の疑問、課題に応えるためワークシートに Q&A 欄を設けるなど工夫するとよい。
	◎学習指導要領の確実な実施による基礎基本の定着と活用力の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> 各教科が作成したシラバスに基づいて学習指導が進行しているか教科担任に確認し、基礎基本の定着を図りたい。 基礎基本の定着は、生徒の理解度の問題である。楽しい授業とは分かる授業であろう。 <p>※重点目標の達成のために、次年度のシラバスの内容を整理し、有効活用するよう学年ごとのシラバスを作成する。</p>
豊かな心の育成	◎自他を尊重し社会性と思いやりのある生徒の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のアンケートでは全般的に協調性は高く、学年や学級にとどまらず、交流できるオープンな雰囲気が牛込第一中の良い点である。特に全校給食では全校の生徒と先生の円滑な運営はすばらしく誇るべき伝統によりマナー向上や思いやりが育っている。 協働作業、地域活動など積極的な取り組みが見える。 発展性のある地域との交流により社会性が高められる。
	◎あいさつ運動の展開	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は大変によく、あいさつを交わしている。 教職員が来訪者、保護者、そして生徒にもあいさつすることの手本を見て育っていることと評価する。 「あいさつ」は運動によってではなく、人として自然な姿でありたい。「運動」することではない。

様式 2

<p>体力の向上</p>	<p>◎心身を鍛え逞しく生き抜く力を持つ生徒の育成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・牛込一中の給食指導、部活動指導の取り組みについて保護者、生徒、関係者からの評価が高い。 ・生徒の健康のための食育指導が充実し、給食を通して食事のマナーも身に付き、意識を高めている。 ・部活動に積極的に参加し、自己を鍛えているが、3年生の受験期でも心身の健康のために、運動することを奨励したい。
<p>特色ある教育</p>	<p>◎学び続ける姿勢で自己実現を目指す生徒の育成</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習に時間「牛一ネオタイム」では1年生から3年生までの縦割り集団による学びが本校の特色である。 ・学習にかける時間的や課題設定、調べ学習、内容の発展・進化、発表の方法など再考し、「ねらい」を明確にして教職員の指導の確立を図りたい。 ・キャリア教育、職場体験学習は多くの協力を得て充実している。
	<p>◎読書活動の充実と学校図書館の有効活用</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書活動は、その目的を各学年で異なることなく、教職員の意識を高めたい。 ・図書館からの貸出し図書数が少ないことを感じている。教職員も生徒との交流を深めるためにも積極的な図書館の活用を期待する。 <p>※次年度は学校図書館司書の配置が予定されている。</p>
<p>連携強化を目指す長期的な取り組み</p>	<p>◎小中連携教育の推進</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携教育が十分に推進されているとは言い難い。単に出前授業にとどまらず、生徒と児童との関わりの連携教育を中期・長期的に構築していくことが重要である。 ・小中連携の「ねらい」を相互に明確にしなければ進められるものではなく、意義あるものであるよう検討したい。
	<p>◎地域と歩む学校づくり</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のアンケート結果から学校が積極的に生徒の活動の様子や教育活動を公開していることにより理解を深めている。学校行事には多くの地域の方々が参加している。 ・中学生は地域の大きな力となることを地域に理解してもらうことが必要な時である。(防災訓練の際などに)
	<p>◎学校情報の発信</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校たより、ホームページは保護者や地域の方々には毎月の情報を楽しみにしている。 ・玄関には「学校たより」「PR誌」などを置き、自由に持ち帰られるよう情報の発信はよく工夫されている。